

日本のまんなか意識調査 福祉系の資格に関するアンケート 調査結果

株式会社中広(本社:岐阜県岐阜市 代表取締役社長:後藤一俊)が運営するフリモリサーチでは、この度、岐阜県・三重県・愛知県・滋賀県・福井県・鳥取県のフリモ会員(96,904名)を対象に「福祉系資格」についてアンケートを実施し、調査結果をまとめております。

当社の持つネットワーク(モバイル会員)を活用し、日本の「まんなか(中部圏)」に暮らしている方たちがどのような消費動向を行っているのか実態調査するものです。

<調査ハイライト>

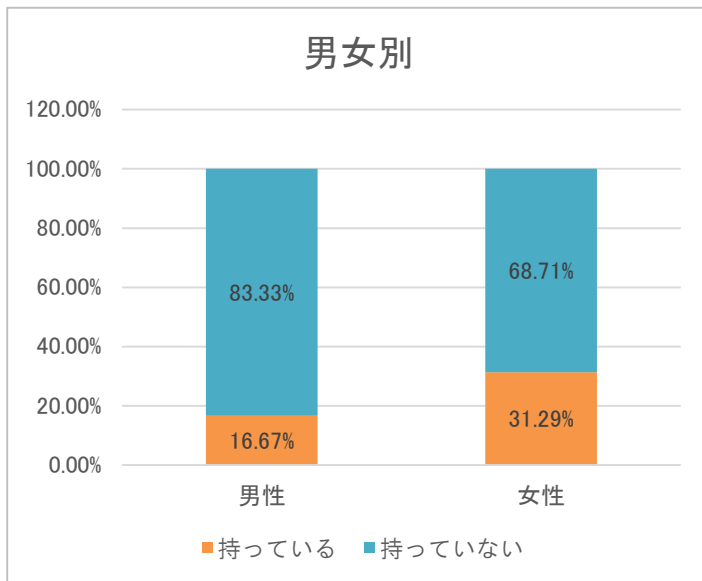
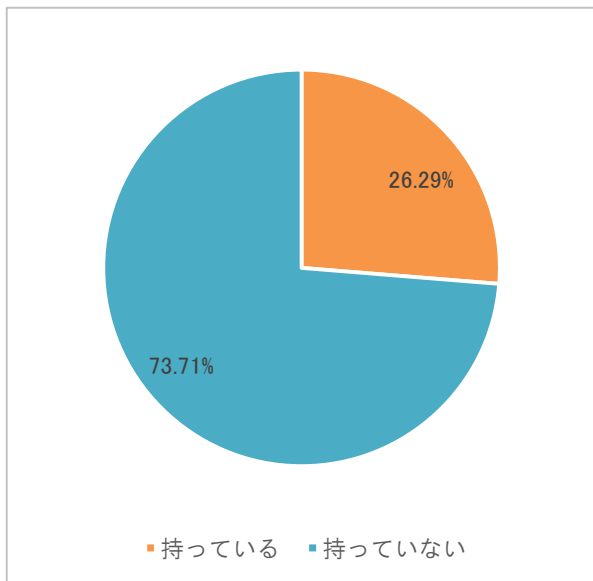
- ・福祉系の資格を持っている人 26%
- ・取得している資格で最も多いのはヘルパー2級 17%
- ・資格取得の理由は「知識・技能を向上させる(スキルアップの)ため」 45%
- ・資格の取得方法は「専門学校に進学」 28%
- ・資格を活かした仕事に就いている 55%
- ・福祉系の仕事では「生きがい・やりがいがある」 41%
- ・福祉系の仕事で不満に感じること「収入」 51%

福祉系の資格を取得しているひとは26%と全体の1/4の人が資格を取得していた。スキルアップのために資格を取得した人が多く、福祉系の仕事に従事している人が半数以上の55%という結果だった。「生きがい・やりがい」を感じているものの、「収入」の面で不満を感じている人が多いことがわかった。

【本調査に関するお問合せ先】

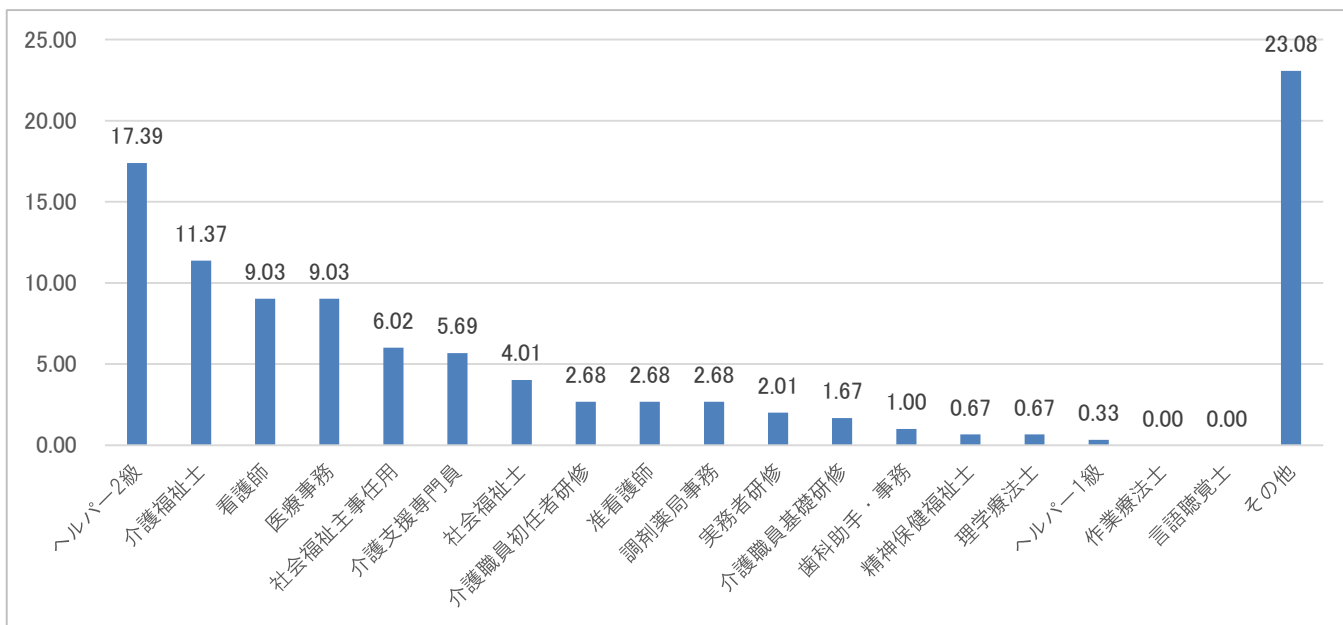
株式会社 中広 開発本部 クリエイティブ部 企画課 CMR担当
TEL:058-214-3325 E-mail:info@furimo.jp

Q1 福祉系資格を持っていますか？



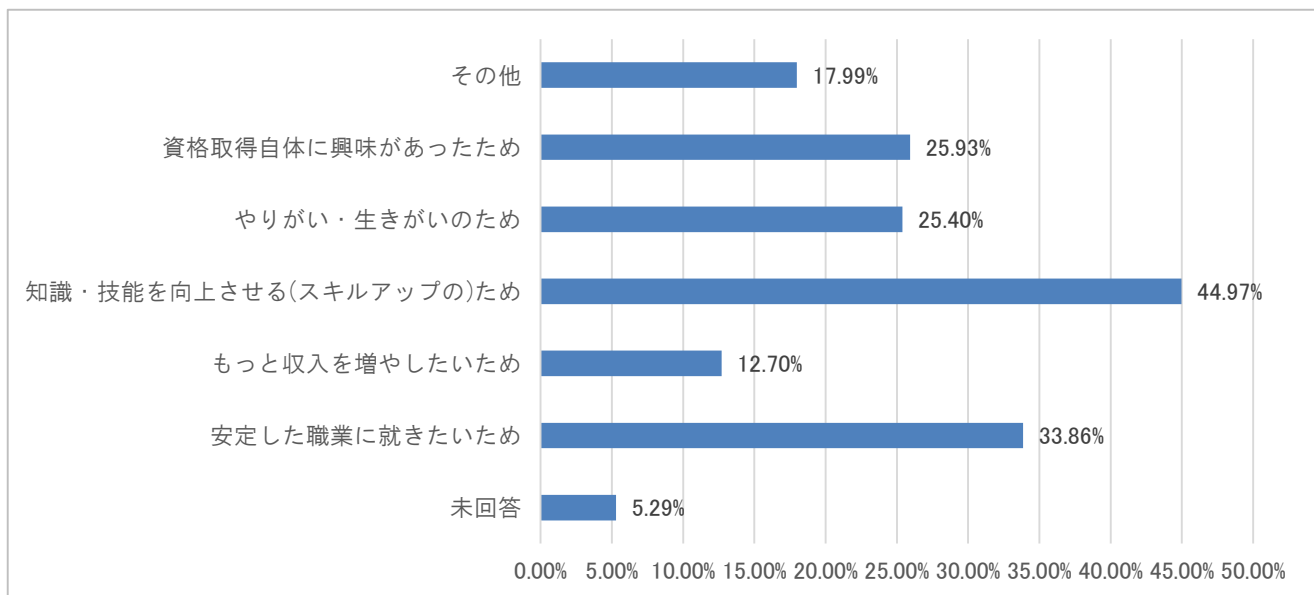
資格を持っている人は全体の26%という結果となった。
男女別の結果を見ると、男性より女性の資格保持者が多いことが分かった。

Q2 持っている資格を教えてください



持っている資格の内訳としては、「ヘルパー2級」が最も多く17.39%、次いで「介護福祉士」が11.37%という結果だった。

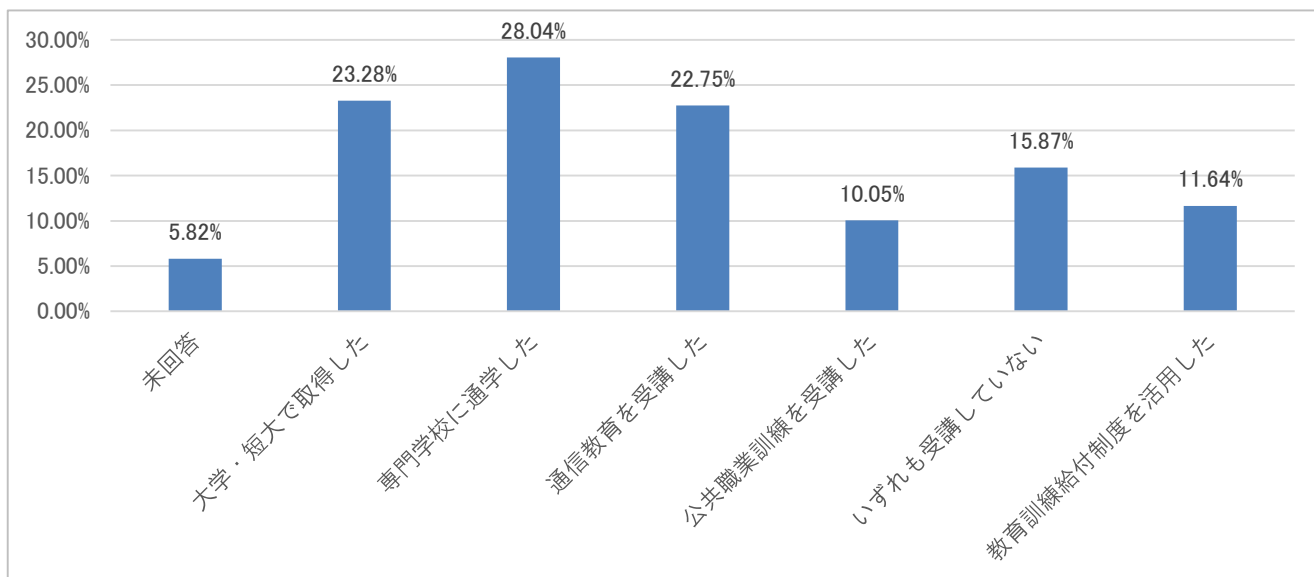
Q3 資格を取得した理由はなんですか？



資格取得の理由としては、「知識・技能を向上させる(スキルアップ)のため」が44.97%と一番多く、次いで「安定した職業に就きたいため」が33.86%となった。

資格を仕事に活かしたい思いが伺える。また、収入よりも「やりがい・生きがい」を重視して資格取得するという点が目立った。

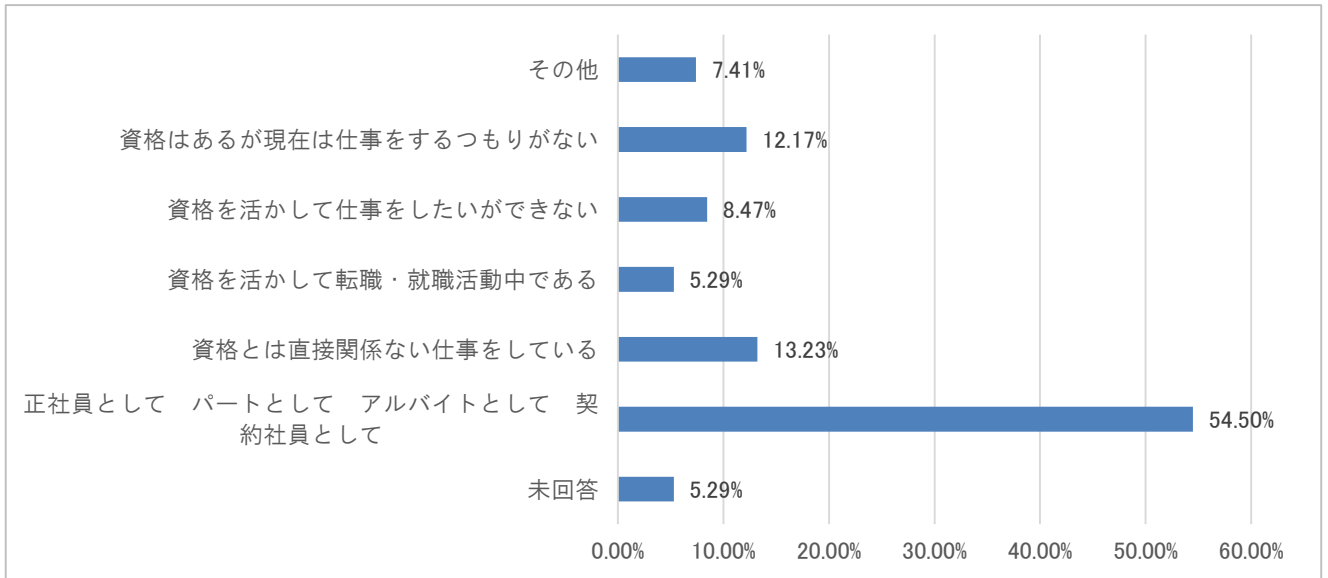
Q4 資格を取得した方法はなんですか？



資格取得の方法としては「専門学校に進学した」が一番多く(28.04%)、次いで「大学・短大で取得した」が23.28%と、学生時代に資格取得した人が51.32%と半数以上だった。

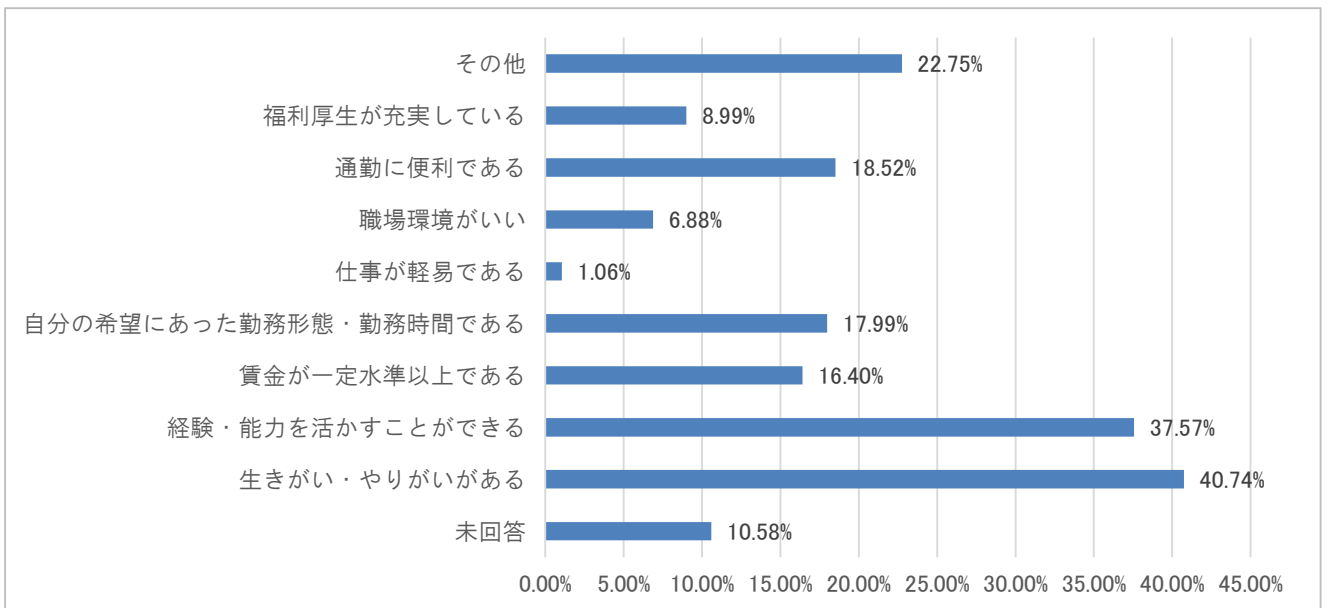
また、「公共職業訓練」や「教育訓練給付制度」など、失業時の資格取得制度を利用した人が21.69%ということが分かった。独学で取得という人も15.87%存在した。

Q5 介護・看護・医療関係の資格を活かした仕事に就いていますか？



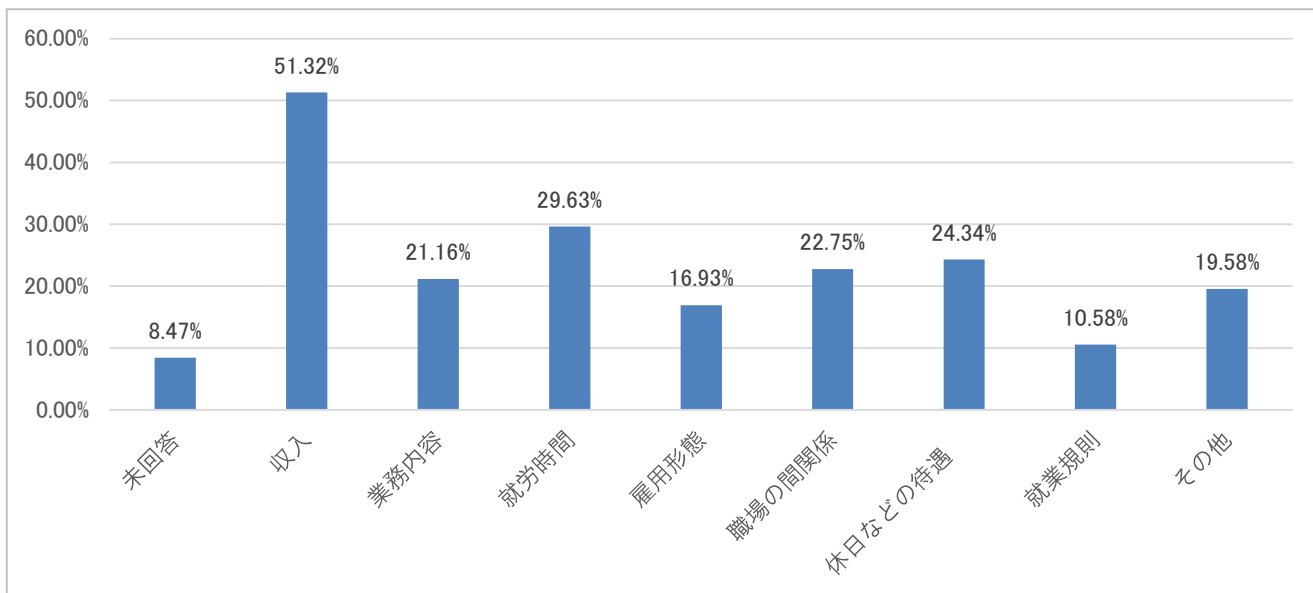
資格を活かした仕事に就いているものは半数以上の54.50%。
資格を活かして転職・就職活動中の人は5.29%となった。

Q6 介護・看護・医療関係の仕事で満足していることはなんですか？



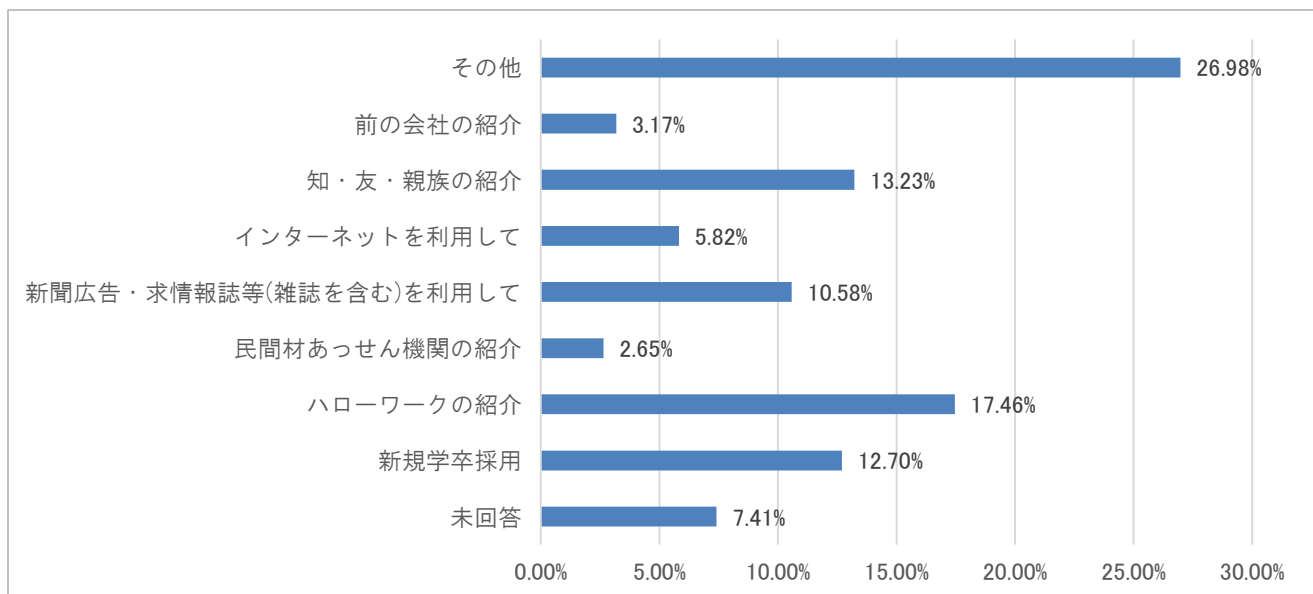
福祉系の仕事で満足している点は「生きがい・やりがいがある」が一番多く40.74%。
「経験や能力を活かすことができる」が37.57%となった。「仕事が軽易」と感じている人は1.06%にとどまった。

Q9 介護・看護・医療関係の仕事で不満に感じることを教えてください



福祉系の仕事で不満に感じている点は「収入」が最も多く半数以上となった(51.32%)。次いで「就労時間(29.63%)」、「休日などの待遇(24.34%)」となっており、労働環境に不満を感じる人が多いことが分かった。

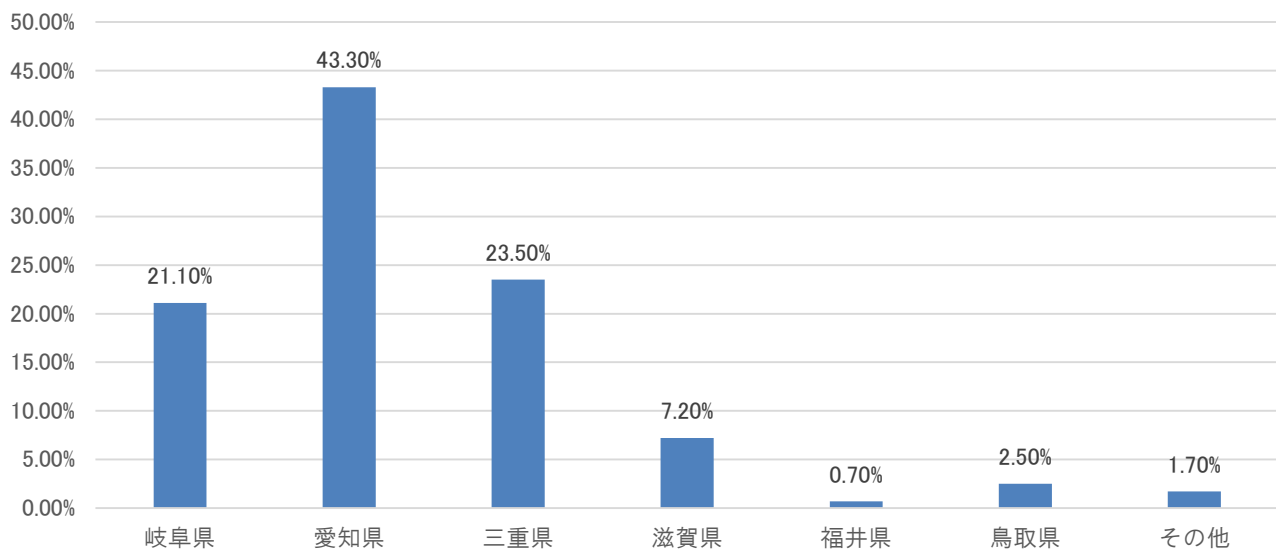
Q10 現在の仕事に就職した方法はなんですか？



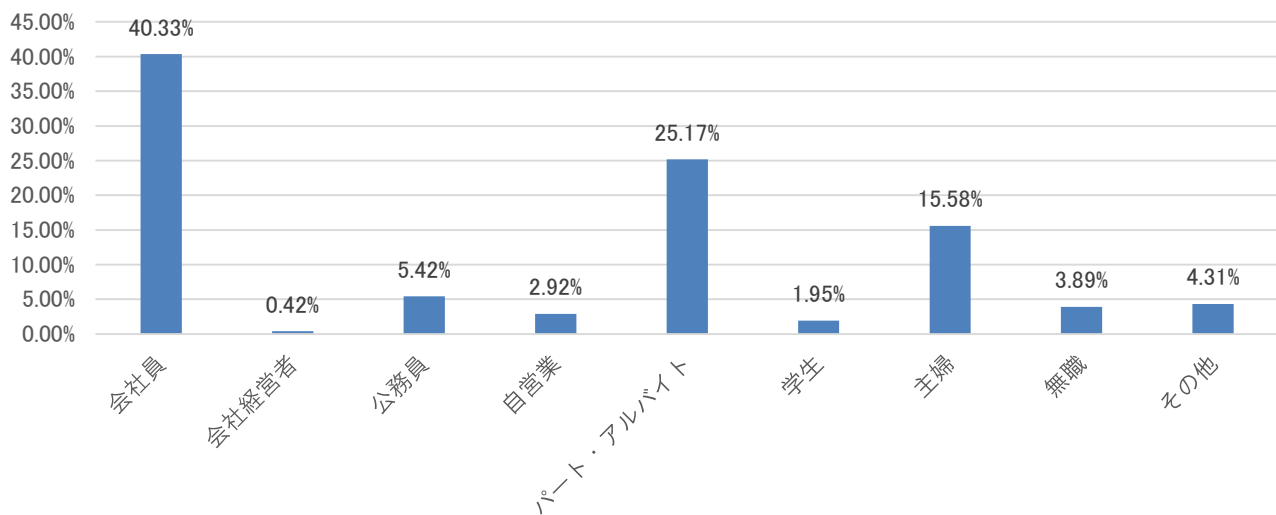
現在の仕事に就職した方法は、その他を除くと「ハローワークの紹介」が最も多く(17.46%)、次いで「知・友・親族の紹介」が多い(13.23%)。

基礎属性

お住まいの地域を教えてください



現在のご職業を教えてください



【調査概要】

調査概要: 日本のまんなか意識調査 福祉系の資格についてのアンケート

調査方法: フリモリサーチ

調査時期: 2015年5月23日～5月26日

有効回答数: 10～70代 男性246人 女性473人 合計719人

【共同調査】

岐阜大学地域科学部 教授 三井 栄

専門: 計量経済学: 景気分析、数理ファイナンス、経済シミュレーション

『中部を創る～20人の英知が未来をデザイン～』中日新聞社(2010)「東海北陸自動車道全通による地域経済への影響—企業の意識構造分析」地域学研究(2011)

【フリモリサーチについて】

「フリモリサーチ」とは株式会社中広が運営するモバイルサイト「フリモ®」の会員に対しアンケート調査を実施するアンケート組織です。登録いただいている男女約90,500人を対象に不定期のアンケートを実施し、アンケート結果をサービス改善や資料作成に役立てています。

【フリモ®について】

「フリモ®」とは株式会社中広が運営する携帯ポータルサイトです。中部圏を中心に発行している各戸配布の生活情報誌と連動し、飲食店、ヘアサロン、整体、スクール、ハウジングなど、様々なジャンルが掲載されています。現在約14県140市町村郡の情報を掲載しており、掲載店舗・掲載エリアを拡大しております。

<http://sp.furimo.jp/>

【株式会社 中広について】

株式会社中広は岐阜に本社を置く広告会社です。当社は、東京・愛知・岐阜・三重・滋賀・福井・鳥取の1都6県下でメディア事業及び広告セールスプロモーション事業を展開しております。1978年の設立以来、多くの方々に支えられ、2007年セントレックスに上場、2012年に名証2部に上場、2014年には東証2部に上場致しました。

メディア事業においては、地域に根ざした生活情報を収集・編集して地域みっちゃく生活情報誌®を愛知・岐阜・三重・滋賀・福井・鳥取の6県で46誌281万部を発行(VC含め86誌515万部)、無料で各家庭に配布しております。また、イベントセミナー事業(講演会・研修会・イベント)・クロスメディア事業(フリモ・通販・PR)を実施しております。

広告SP事業においては広告戦略・広告計画・販売促進計画を立案する総合広告会社として、スポンサーの要望に応える媒体選択、デザイン提案、販売促進策の企画運営を行なっております。

<http://www.chuco.co.jp/>

株式会社 中広

本 社: 岐阜県岐阜市東興町27番地

TEL: 058-247-2511(代)

創 業: 昭和53年5月1日

資本金: 4億430万円

代表取締役社長: 後藤一俊

【回答者属性】

	～9歳	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～	合計
男性	0	0	2	2	6	17	31	39	52	54	21	13	7	2	246
女性	0	1	3	17	43	50	65	90	95	69	27	7	2	4	473
合計	0	1	5	19	49	67	96	129	147	123	48	20	9	6	719